

夢洲関連工事の通勤車両の通行時間帯と調整状況

通勤車両のルート毎、時間帯毎の調整結果

◆流入 通勤車両（小型車換算）

	通行可能台数					
	北※1			中央	南	合計
		高速※2	一般道※3			
6時台	1,375	1,355	560	180	330	1,885
7時台	1,310	1,180	250	80	300	1,690
合計	2,685	2,535	810	260	630	3,575

事業全体の想定ピーク台数					
北※1			中央	南	合計
	高速※2	一般道※3			
817	592	225	272	238	1,327
530	305	225	172	247	949
1,347	897	450	444	485	2,276

◆流出 通勤車両（小型車換算）

	通行可能台数					
	北※1			中央	南	合計
		高速※2	一般道※3			
17時台	1,240	1,140	600	340	590	2,170
18時台	1,335	1,315	610	540	740	2,615
合計	2,575	2,455	1,210	880	1,330	4,785

事業全体の想定ピーク台数					
北※1			中央	南	合計
	高速※2	一般道※3			
566	341	225	192	188	946
782	557	225	252	297	1,331
1,348	898	450	444	485	2,277

【調整方針】

合計数では、流入、流出ともに想定台数が通行可能台数以下となっているものの、中央ルート（流入）においては、想定台数が通行可能台数を超過しているため、今後、各事業の受注者が決定後、受注者間で調整を実施

夢洲関連事業における工事車両の運行管理

【AIカメラ等を活用した工事車両の運行管理システム】

- 異なる事業の多くの工事車両が、時間帯毎に配分された台数を遵守しているかを管理する必要があることから、**AIカメラ等を活用した運行管理システムを構築**していく。
- R5年度には、万博工事が本格化することから、R4年度にはシステムを構築して試行実施を行い、R5年度からの本格運用をめざす。

① 南北ルート別、時間帯別上限台数の設定

- 工事車両の配分調整結果を踏まえ、ルート別（北・中央・南）、時間帯別の通行可能台数を設定（上限）

② 工事用車両の事前登録

- 夢洲へ流出入する工事車両の車両ナンバーを事前登録
- 必要に応じて事業者間で台数調整



③ 工事車両の運行確認と通行状況の把握

- 道路等に設置したAIカメラ等で通行確認（車両ナンバーを読み取り、登録車両かどうかを自動照合）
- 入退場ゲート到着時に車両情報をAIカメラ等で確認し、登録車両かどうかを照合（未登録車両は、別途登録）
- 違反事業者に警告

